

(株)フォresta鳥海の運営状況をお知らせします。

【主な指定管理施設:ホテルフォresta鳥海】

(単位:円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間利用者数(人)	(A)	28,820	27,868	32,288	22,772	33,752
従業員数(人)	(B)	32	28	19	32	34
年間売上高	(C)	217,648,106	239,853,296	175,643,911	157,456,091	191,159,397
売上総利益	(D)	157,797,280	181,123,760	132,271,204	117,265,066	139,989,669
販売費一般管理費	(E)	203,680,947	205,951,286	169,224,033	176,345,645	192,156,163
営業利益	(F)	▲ 45,883,667	▲ 24,827,526	▲ 36,952,829	▲ 59,080,579	▲ 52,166,494
市からの補助金額	(G)	25,900,000	24,950,000	32,793,000	34,939,158	51,952,722
市からの指定管理料	(H)	0	0	0	0	0
純利益(純損失)	(I)	▲ 9,912,369	5,228,237	694,772	▲ 7,442,427	▲ 626,661
資産額	(J)	47,188,100	47,297,530	38,609,070	34,508,828	31,392,829
負債額	(K)	38,067,750	33,132,943	23,749,711	27,091,896	24,602,558
純資産額	(L)	9,120,350	14,164,587	14,859,359	7,416,932	6,790,271
資本金	(M)	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者1人当たり売上	C/A	7,552	8,607	5,440	6,914	5,664
従業員1人当たり売上	C/B	6,801,503	8,566,189	9,244,416	4,920,503	5,622,335
利用者1人当たり営業利益	F/A	▲ 1,592	▲ 891	▲ 1,144	▲ 2,594	▲ 1,546
従業員1人当たり営業利益	F/B	▲ 1,433,865	▲ 886,697	▲ 1,944,886	▲ 1,846,268	▲ 1,534,309
利用者1人当たり補助金	G/A	899	895	1,016	1,534	1,539
利用者1人当たり指定管理料	H/A	0	0	0	0	0
利用者1人当たり負債額	K/A	1,321	1,189	736	1,190	729
粗利率	D/C	72.5%	75.5%	75.3%	74.5%	73.2%
販管費率	E/C	93.6%	85.9%	96.3%	112.0%	100.5%
自己資本比率	L/J	19.3%	29.9%	38.5%	21.5%	21.6%
負債比率	K/L	417.4%	233.9%	159.8%	365.3%	362.3%
資本剰余額(欠損額)	L-M	▲ 40,879,650	▲ 35,835,413	▲ 35,140,641	▲ 42,583,068	▲ 43,209,729

【用語解説】

粗利率(売上総利益÷売上高)	売上高から原価を差し引いた粗利益を比率にしたものを示した指標。売上高に対する売上総利益の比率を表す。企業の大まかな利益率を把握するための、基本的な指標。
販管費率(販売管理費÷売上高)	売上高に対する販管費(販売費、一般管理費)の比率を示す指標。売上に対して過剰に経費がかかっているかなどを確認する際に使用する。この比率が低いほど効率的な経営を行っているといえる。
自己資本比率(自己資本÷総資産)	総資本に対する自己資本の比率を表す指標。自己資本は、株主からの出資や会社の利益からなるもので、自己資本比率が高ければそれだけ借入金が少ない、健全な経営を行っているといえる。一般的に50%以上が望ましい。
負債比率(負債÷自己資本)	自己資本に対して負債がどの程度あるかを表す指標。財務的な安全性を測る指標として用いられており、一般的には負債比率が低いほど財務的な安全性が高い。負債比率が100%以下であれば自己資本で全ての負債を返済できるので問題はない。
資本剰余額(欠損額)	純資産額(資本総額から負債総額を引いた額)から資本金額を差し引いた額。